

平成 23 年度第 5 回理事会

1 開催日時：平成 24 年 3 月 9 日（金）

1 開催場所：秋田県臨床検査技師会事務所

秋田市南通築地 1-1 ファーストワン築地 2A

1 理事数：25 名

参加理事：佐藤寛、藤田秀文、遠藤正志、太田和子、高山洋子、佐藤尚之、久保田政昭、
小山田一、齋藤敦、熊谷優子、藤田郁子、佐藤慶子、菊地孝哉、武田亮、
奈良悦子、清水盛也、武石茂美、渡部満則、後藤利明、佐藤峯子、
浅野美也子

欠席（○委任状提出者）：○貝田奈津子、○佐藤義暢、○川上登、○高橋稔

参加理事 21 名、委任状提出理事 4 名で総理事の過半数を超えており、今回の理事会は成
立した。

1 書記：奈良悦子（県北理事）

1 議事録署名人：熊谷優子、高山洋子

1 議事内容：佐藤会長が議長となり資料に沿って審議された。審議内容及び決定事項は以
下の通り。

議 事

I 会長挨拶

忙しい中お集まりいただき有難う御座います。今日は、第 5 回理事会ということで、来週
の総会の中身についてと、前回承認保留になっていた新公益法人支部制について御審議、
承認を頂きたいと想います。

II 前回の議事録の確認

1) 新定款について

第四条、地域医療に貢献する必要があるなど、具体的な記載をする必要がある。現在の
秋田県の定款にある内容を見ても、悪くはないが、吟味して変えていける所は変えていき

たい。定款についての今後のスケジュールですが、5月の定期総会で新しい定款を示して、承認を得ることができればいいが、準備が間に合わないので、臨時総会を開いてその場で承認を得る方法を今考えている。それが10月か11月。最終的な県への申請は12月を目指している。最初の予定は8月だったので、4ヶ月ほどずれ込むようである。

2) 支部取り扱い

承認保留となっていたが、今日これから話し合います。

3) 前回議事録の(2)

講師が決まっていなかったが、長野県の内田先生にお願いした。「検査説明、相談のできる検査技師」ということで講演して頂く予定。宿泊は、総会前日の金曜日、メトロポリタンを予約、タクシー券2枚も準備した。

4) 前回議事録、事務局職について

高山事務局長が、4月以降産休で、不在になることによって、仕事やる人がいなくなる。役員推薦委員長の方から、現役の理事で仕事を分担してやって欲しいとの申し出があったが、ちょっと無理な所があるので、2月19日に藤田さんの方へ交代する人を推薦してもらうということで依頼をした。

5) 議事録の4番 会計について

大館の学会の準備金130万送る件、2月27日に送金しました。

6) 前回議事録の6番

日臨技の会長選挙、秋田県は宮島義文さんを推薦している。2月15日に礼状が届いているが、これは理事の方々へメール送信してある。投票は3月1日から始まっています。今後は投票率アップを図るよう広報していきたい。

これから発送する文章の中に日臨議の総会の委任状があります。委任状を書くにあたっての委任者を誰にすればいいかということで、私も出席するので、私の名前を書いて下さい。

7) 会議報告

本日の議題に入る前に、東臨技と北日本支部の会議報告をします。

- ・北日本支部幹事会が、2月11日仙台で開催されました。東北7県に北海道が加わりま
す。支部長は岩手の伊藤茂雄さん、副支部長は福島の大花昇さん、理事2名は北海道の
及川雅寛さんと宮城の長沢光章さんです。今現在、事務所が無いので、宮城県技師会の
一部を間借りするという事で承認を得ました。学会開催順は、岩手の次に北海道がは
いります。

- ・日臨技より高田会長が出席し、福島の支援ということで、説明していきました。政府から日臨技に支援要請があったそうです。具体的には、今現在福島医科大学が請け負っている福島県の被曝調査で人員が足りないので、日臨技から2名を派遣し、30年の長期にわたってやります。
- ・東北臨床検査技師会の代表者会議が福島で2月24日に開催され、復興支援金の使い道について説明がありました。岩手県で血栓症の超音波検診と、被災した会員の技師会費に当てるといことです。あとは、非常時の報告管轄の連絡網、HP作成などにあてる予定です。
- ・伊藤忠一賞（精度管理に対する賞）、各県ひとまわり受賞しました。残金13万4千円ありますが、一般会計に繰り込むので、伊藤忠一賞に関するお金は0円となります。
- ・今後の予定、3月24日 日臨技総会と、技師連盟の連絡協議会にも出席してきます。現在の連絡責任者は前会長の阿部毅さんですが、今後は、組織対策の副会長の藤田さんのほうに引き受けて頂きたい。

Ⅲ 平成23年第二回通常総会について、

1) 平成23年第二回通常総会議案書について

前回の理事会で出してもらった来年度の事業計画書を元にこの議案書を作成しました。今回の作成にあたっては、未定という記載を避け、事業を実施する人の方針も記載するという方向で作成しました。予算のところ会費収入額は、461万円です。その中身が正会員は590名、賛助会員は53社、入会者は20名、会費の収入としては461万円、事業収入、352万円です。事業収入の中の日臨技助成金、7項目あるが下の2つは来年度廃止です。この中の大きいのが生涯教育推進研修会助成金 100万円です。医師会で計画した研修会1事業 5万円 20研修会まで。補助可能です。

雑収入の中で、新公益法人移行費用 今年度100万円 来年度50万円、今年度100万はまだ出していない。

支出の部、管理費の中の公租公課、公認会計士監査費、マイナス50万円、来年度は会計士の監査費10万円プラスで60万円。前年度予算と比べるとこの減額が大きい。

事業費のなかで大きいのが啓発普及費の通信運搬費、40万円、通信運搬費3種類くらいあるが来年度は啓発普及に関わることが殆どなので、啓発普及費にまとめた。啓発普及費の中に震災復興支援事業費、20万が新しく申請されています。

結果的に公益の事業費率、今年度60.4%から、若干さがって58.6%に。予算の所で、県委託事業20万円から16万円に下がったので、不足分は技師会より補充します(高山)

総会当日は、12時から、総会の事前打ち合わせを行います。総会終了後、部門長の新旧交代があるので、紹介があります。交通費と食事代1000円を支給します。

当日参加予定理事には後日連絡します。集合は11時30分頃です。

役員推薦委員は任期終了となるので後で人選をしなければならない。

講演会は長野の内田先生にお願いしてあります。司会進行は、藤田副会長にお願いしてあります。謝礼は3万、重くない記念品も準備してあります。

前日、来秋するので、食事会を開きたいと思っているので、参加できる方は、メールで連絡下さい。8ページ 県南の支部行事 7月29日から8月4日に変更（藤田副会長）

3ページ 23回精度管理報告会を総会とは別に設けました。4月15日ジョイス（佐藤尚之）各施設1名以上出席お願いしたい。

2) 新公益法人移行後の支部取り扱いについて

県技師会に各支部を取り込んだ場合、支部の活動に制限がかかる可能性あるが、支部で会費を集めなくても現行の活動が可能と思われるので、総会の方で、了解を得たい。本県の医師会以外は公益を目指している。臨床工学、理学療法は承認をうけている。

3) 部門長と顧問の交代についてですが、総会の時には配布できると思います。

生化学分析部門は佐藤尚之が兼務

生理部門留任

病理部門は山本組合総合病院の藤嶋正人さん

一般検査は留任です

血液部門は秋田赤十字病院の島田幸栄さん

感染制御部門は留任

輸血部門は仙北組合病院の林崎久美子さん

検査総合部門は未定

以上4名が交代です

顧問の先生ですが3名にお願いしているが、大野先生が辞退したいと申し出られています。どなたかお願いできる先生がいたら教えてください。当分は2名でもいいが、三浦先生も抜ける可能性があるので1名補充出来ればいいと思います。

IV) 平成24年度第1回通常総会について

5月19日、パークホテルにて開催します。情報交換会も予定していますが、事務局長が産休で居ないので、大変かとおもいますが、よろしくお願い致します。

この総会の議案書を作成しなければならないので、3月31日までに23年度分の事業報告書を提出して欲しい。後日ひな形をメールで送ります。

会計監査の日は決めていません。講演会は診療報酬に関わるものを予定していますが、何かありましたら連絡下さい。

V) その他

遠藤：2月16日、部門長会議と精度管理調査報告回をキャッスルホテルにて各部門長と五十嵐先生が出席して開催しました。その時出た話で、公益に移行するにあたって、会計報告はこれまでのようにざっくりした感じでいいのか、講師料とか業者さんからの分とか、どこまで細かく記載する必要があるのか気になっているようなので、新しい部門長さんが決まった時点で会計の方から説明して欲しい。

斎藤：税理士さんにきいて報告したいと思いますが、業者さんからというのはよくあるのですか

佐藤：メーカーさんから持ってもらおうということはある。その領収書をどこからもらっているのか、どうしたらいいのかそういうところをはっきりして欲しいと思う。

遠藤：きちっとしていかなければいけない部分もあると思うので、宜しく願いい致します。

遠藤：認定を持っている方が部門長になるケースが多いようですが、部門長は更新の時の点数になるときもあるので、技師会から委嘱状を発行して欲しいということですが、先程の常任理事会でお願いしたのですがよろしいですか。

会長：あまりりっぱなものは作れないとおもいますが作ります。

佐藤：報告会ですが、4月15日は参加をお願いいたします。その時、日臨技で昨年実施したWeb形式を秋臨技でも取り入れたいと思いますので、その説明も兼ねて実施したいと思います。その入力形式のシステムを構築しなければならないので、そのために精度管理の事業費のなかから初期費用として20万円を精度管理の事業費から捻出したいと思っています。その後、維持費とか年度ごとにかかる費用については、できるだけ委員の中で構築し、経費削減していきたいと考えています。次年度費用が必要となった場合は予算を計上し、承認を得てから、構築していきたいと思っています。

会長：全国学会の座長推薦依頼が来ています。血清部門で佐藤尚之さん、生理部門で菊池隆也さんを推薦しました。三重県まで出張お願いします。

菊地：話は戻りますが、支部助成金の扱ですが、今までは予算で支部交付金4万ずつの16万だったのですが、5万円ずつになるって事ですか？

斎藤：いいえ、申請された中で予算化しているのでオーバーしても大丈夫、均等割はしています。あくまでも事業内容にたいして再度申請していただいて、申請となります。

遠藤：事業ごとに会費を取るのは大丈夫ですね。年回費としては無理ですが

会長：あくまでも参加費としてであればOKです。年会費はダメです。

遠藤：由利支部で、定期総会と記載しているが、それはいいのですか？県に定期総会があるので、支部に定期総会というのはおかしい気がするのですが。

菊地：支部での総会はいらないということになりますよね。

斎藤：今回の申請で、県南が5万円中央4万県北4万、由利8万1千円ということだ

たい8万となります。この範囲で考えていただければいいと思います。

遠藤：あくまでも申請の段階なので、まだいいでしょう。

菊地：その都度徴収してやるというスタイルでの会計でいいですね。

会長：非会員の方も参加可能なスタイルで公益性も高めて頂きたい。非会員の方からは、多めの参加費をもらうということをお願いします。参加費の設定のないものも非会員からはもらう方向でお願い致します。

武石：確認ですが、大館の県学会で、健康と検査展も同時開催を予定しているが、人員の割り当てはどのように考えているのか。去年秋の健康展のスタッフ40人くらい必要だったので、県学会のスタッフは30人くらいだったので、単純に足して70人くらいにもなる。そのへんはどのように考えているのか。最近は病院が主張費支給がないところも多く、派遣がむずかしいのでは。

太田：まだ本決まりではないが、地方ですので、時間は2時間、50人位の方対象に実施したいと思っています。項目も少なくして、縮小版みたいな形で、スタッフも少なくて済むような形で考えている。各施設長あてに核となる方を推薦して頂き、その方たちには、足代を出せるよう予算も考えています。

佐藤：来週の総会の時、支部を取り込んでいきたいということを提案し、承認を得たいと思っています。今年度最後の理事会ということですが、なにかありますか。後日理事の方には総会当日の役割をメールします。

以上